

早期水稻育苗情報

令和8年1月
北筑前普及指導センター
J A む な か た

培土の準備

- ① 黒粒培土の場合(1箱当たり)
 - ・床土2.5kg+覆土1kgが目安。
 - ・昨年開封した残りは使用しない(カビ等が発生しやすい)。
- ② 山土の場合
 - ・pHが5.0~6.5(5.0~5.5が望ましい)のものに、籾殻くん炭を容積比で3割程度混ぜる。
 - ・1箱当たり4~5l準備し、播種1週間前に育苗肥料4-4-4を混和する。
混和量は1箱当たり30g(600g/20箱)。
 - ・休耕田や紋枯病多発田、畑作後の土は使用しない。

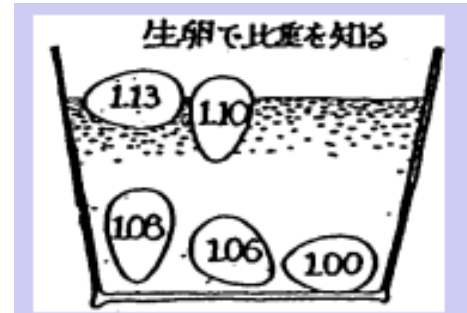
塩水選 購入種子の場合は、比重選別機を通しているため、基本的には塩水選は不要。

塩水選を実施する場合は以下のとおり行う。

- ・塩水選が終わったら、よく水洗いする。

| 比重 | 水10lに溶かす量 | |
|-----------|-----------|--------|
| | 食塩 | 硫安 |
| 1.08(うるち) | 1.11kg | 1.46kg |

※海水の比重は 1.03



種子消毒

- ・下記の2つの薬剤混用で、24時間浸漬する(種籾の袋をよくゆすって、気泡を除くこと)。

| 農薬名 | 種子 | 希釈水量 | 薬量 | 倍率 | 適用病害虫 |
|-------------|-------------|------|--------|-------|------------|
| テクリードCフロアブル | 10kg の場合 | 20l | 100 ml | 200倍 | いもち病、ばか苗病他 |
| スミチオン乳剤 | | | 20 ml | 1000倍 | イネシガレセンチュウ |

- ◎ 種子消毒後は軽く薬液をきって、そのまま浸種にはいる。
(水洗いはしない)
- ◎ 種子消毒、浸種については、籾袋の中心まで薬液が浸透するよう、袋に籾を詰め過ぎないようにする。

浸種・催芽

- ・1日1回、水を交換する(水温が下がらないよう、午前中に行う)。
- ・浸種に要する日数は6~10日、積算水温(平均水温×日数)で100℃。
- ・催芽機利用の場合は浸種初日~2日間は温度を上げない(10~15℃)。その後も積算水温(100℃)をめやすに浸種する。また、浸種時の高温(30℃以上)は籾枯細菌病の発生を助長するため高温にならないよう注意する。
- ・播種前日に種子を取り出し催芽処理を兼ねて水切りを行う。催芽は図のようにハトムネ程度が適当である。



床土消毒・播種 薄まきで、丈夫な苗を！播種前の床土はしっかり水やりし吸水させておく。

【苗の種類と播種量の目安】

| 苗の種類 | 目標葉齢 | 播種量/箱 | | 育苗日数 | 箱数/10a |
|------|-----------|-------|------|---------|--------|
| | | 乾籾 | 催芽籾 | | |
| 3葉苗 | 2.8～3.2 葉 | 120g | 150g | 30～35 日 | 20 箱 |
| ポット苗 | 4.0～4.5 葉 | 45g | 55g | 40～45 日 | 35 箱 |

| 農薬 | 使用方法 | 適用病害虫 | 使用回数 | 使用時期 |
|-----------------|---|--|---|-----------------------|
| ナエファイン フロアブル | 2000倍【は種時】 (水10ℓに薬5ml) (0.5ℓ～1ℓ/箱) 1000～2000倍【は種時～緑化期】 (水10ℓに薬10ml～5ml) (0.5ℓ/箱) | ムレ苗防止 苗立枯病 根の生育促進 移植後の活着促進 | 2回以内 | は種時～緑化期 |
| ダコレート 水和剤 | 400倍【は種時】 (水10ℓに薬25g) (0.5ℓ/箱) | 苗いもち | 1回 | は種時 |
| | 400倍【は種時～緑化期】 (水10ℓに薬25g) (0.5ℓ/箱) | 苗立枯病 | 2回以内 <small>(ただし種子への処理は1回以内、床土への混和は1回以内)</small> | は種時～緑化期 (は種14日後まで) |

・種子消毒とダコレート水和剤灌注を組み合わせると、いもち病に効果が高い。

積み重ね出芽

① 出芽

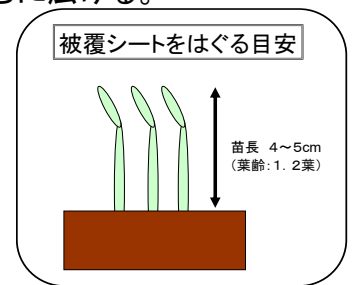
・日当たりの良い場所を選び、りん木を敷きその上に10段程度積み重ねる。シート等で被覆し、低温時はムシロ等でさらに被覆する。

★日中、積み重ね内部の温度が上がり過ぎないように、十分注意する！(25～30℃が目安)。

・積み重ね日数は3～5日間。芽が出そろったら(芽長 0.5～1cm程度)、直ちに広げる。

② 緑化

- ・黒寒冷紗や黒色ラブリットシートで覆い、緑化を行う。
- ・ハウス内の温度が30℃を超えないように注意する。
- ・苗長が4～5cmになったら被覆資材を除去する。



平床出芽

- ・播種後、日当たりの良い水平なところに育苗箱を広げ、太陽シート等をかける。
- ・育苗箱の下に、パイプ又はりん木を敷くと、過剰の水分を早く取り除くことができる。
- ・降雨、露等で太陽シートの上に水がたまったら、早急に太陽シートをはぐり水を取り除く。(水がたまったところは、出芽不良になる)
- ・ハウス内の温度が30℃を超えないように注意する。
- ・苗長が4～5cmになったら被覆資材を除去する。

硬化

・田植え3～5日前にハウス外へ搬出するか、ビニールを除去して外気に慣らす。

【水やりのポイント】

- ・過剰な水やりは根の張りを悪くする。
- ・夕方に水やりすると、夜間に過湿状態となるため、根の張りが悪くなる。
- ・水やりは日中に行う。